

日経ビジネスイノベーションフォーラム知事講演資料等



空港から始まる地域活性化

～ 民の力で早期復興を！ ～



宮城県知事 村井嘉浩

平成24年7月26日




1 仙台空港の概要

- ・ 東北唯一の国管理空港
- ・ 東北の航空貨物の拠点（エアカーゴターミナル併設）
- ・ 海外7都市，国内8都市へのネットワーク
- ・ JR仙台駅とはアクセス鉄道の利用により乗換なしで最速17分

大空へ最速17分。


JR仙台駅と仙台空港を乗り換えなしで最速17分。空と陸をスムーズにつなぐ「仙台空港アクセス鉄道」をぜひご利用ください。

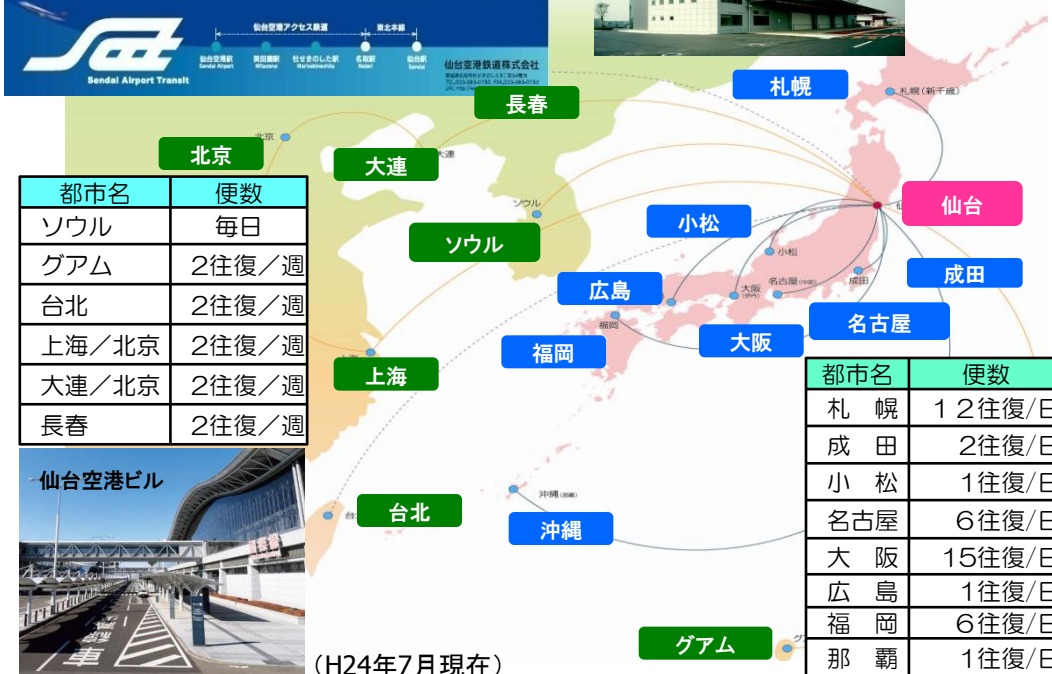
仙台空港アクセス鉄道



仙台空港鉄道株式会社

仙台エアカーゴターミナル






都市名	便数
ソウル	毎日
グアム	2往復/週
台北	2往復/週
上海/北京	2往復/週
大連/北京	2往復/週
長春	2往復/週

都市名	便数
札幌	1 2往復/日
成田	2往復/日
小松	1往復/日
名古屋	6往復/日
大阪	15往復/日
広島	1往復/日
福岡	6往復/日
那覇	1往復/日

仙台空港ビル



(H24年7月現在)

【仙台空港】

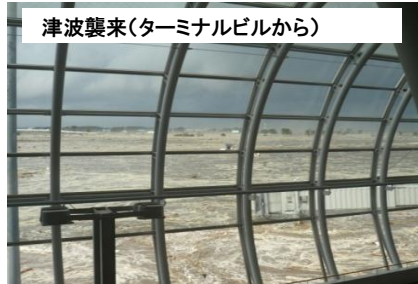
- 設置管理者: 国土交通大臣
- 空港法上の種別: 拠点空港
- 所在地: 宮城県名取市, 岩沼市
- 面積: 238.62ha
- 滑走路: 2本(1,200m, 3,000m)
- 運用時間: 7:30~21:30 (14時間)
- 運行路線:
 - 国内線: 札幌, 成田, 小松, 名古屋, 大阪, 広島, 福岡, 沖縄
 - 国際線: ソウル, グアム, 上海/北京, 大連/北京, 長春, 台北

※長春線は7月末再開予定

- アクセス: アクセス鉄道によりJR仙台駅まで最速17分
- エアカーゴターミナル: 航空会社貨物棟, 国内貨物代理店棟

2 仙台空港等の被災状況

- ・ 平成23年3月11日14時46分東日本大震災発生・15時56分津波襲来
- ・ 空港全体にがれき・車輛が流入
- ・ ターミナルビルは1階が水没 ※津波の高さ3.02m
- ・ エアカーゴターミナルの保税蔵置場等は津波及び火災により使用不能
- ・ アクセス鉄道は、仙台空港駅及び空港トンネルを中心に甚大な被害



仙台空港ビル(株)の概要

設立:昭和45年11月
 資本金:32億円
 売上高:17億27百万円(H22年度)
 主な株主:県, 仙台市, 全日空, 日本航空等

仙台エアカーゴターミナル(株)(SACT)の概要

設立:平成5年4月
 資本金:14億3,750万円
 売上高:1億41百万円(H22年度)
 主な株主:県, 政投銀, 仙台市, 空ビル等

仙台空港アクセス鉄道(株)(SAT)の概要

設立:平成12年4月
 資本金:71億2,900万円
 営業収益:6億36百万円(H22年度)
 主な株主:県, 仙台市, 名取市, JR東日本等



3 仙台空港の復旧のあゆみ

- ・ 米軍のトモダチ作戦等により、わずか1ヶ月という驚異的なスピードで空港が復旧
- ・ 中国温家宝首相，韓国李明博大統領，米国バイデン副大統領が特別機で仙台空港に降り立ち，被災者を激励
- ・ 国内線は昨年7月に全線再開
- ・ 国際線も今年7月下旬の長春線再開により震災前の6路線に回復



トモダチ作戦による米軍の車輛撤去



避難者を激励する温首相



4/13民間機の運航再開



被災状況の説明を受ける李大統領

これまでの経過

【平成23年】

- 3月12日 米軍によるトモダチ作戦(～4/11)
- 4月13日 民間機の運航再開
- 5月21日 中国温家宝首相，韓国李明博大統領来県
- 7月25日 国内定期便・全線運航再開
- 8月22日 米国バイデン副大統領来県
- 9月25日 仙台ーソウル線再開
- 10月 2日 仙台ーグアム線再開
- 10月30日 仙台ー台北線再開

【平成24年】

- 3月25日 仙台ー上海ー北京線再開
- 3月27日 仙台ー大連ー北京線再開
- 7月30日 仙台ー長春再開(予定)

4 仙台空港の旅客動向

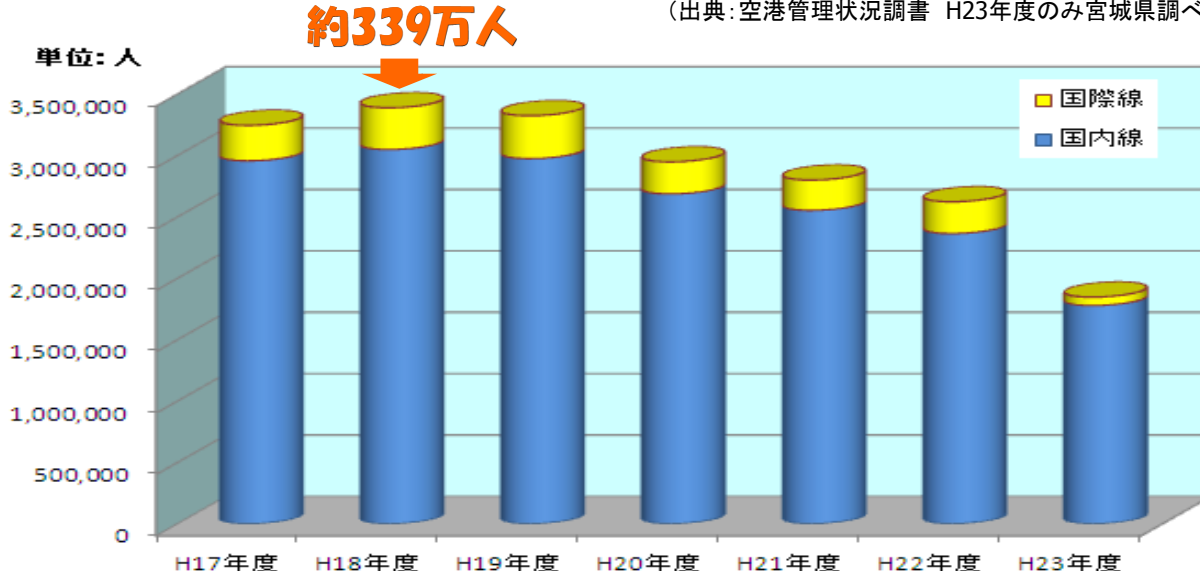
- ・ 仙台空港の旅客数は世界的な経済不況等により平成20年度以降大きく減少
- ・ 震災の影響を受けた平成23年度は定期路線の長期運休により185万人にまで減少
- ・ 減少する旅客を回復させ、ピーク時の倍の600万人にしたい

【仙台空港乗降客数の推移】

(単位:人)

年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
国内線	2,955,977	3,047,955	2,973,505	2,686,360	2,552,515	2,363,415	1,777,078
国際線	288,515	339,508	349,621	260,705	246,385	258,872	68,603
計	3,244,492	3,387,463	3,323,126	2,947,065	2,798,900	2,622,287	1,845,681
対前年度比	100.3%	104.4%	98.1%	88.7%	95.0%	93.7%	70.4%

(出典: 空港管理状況調査 H23年度のみ宮城県調べ)



600万人
に!

5 仙台空港の貨物動向

- ・仙台空港貨物取扱量は、平成12年度を境に年々減少し、平成22年度は1万1千トン程度
- ・減少する貨物取扱量を回復させ、ピーク時の倍の5万トンにしたい

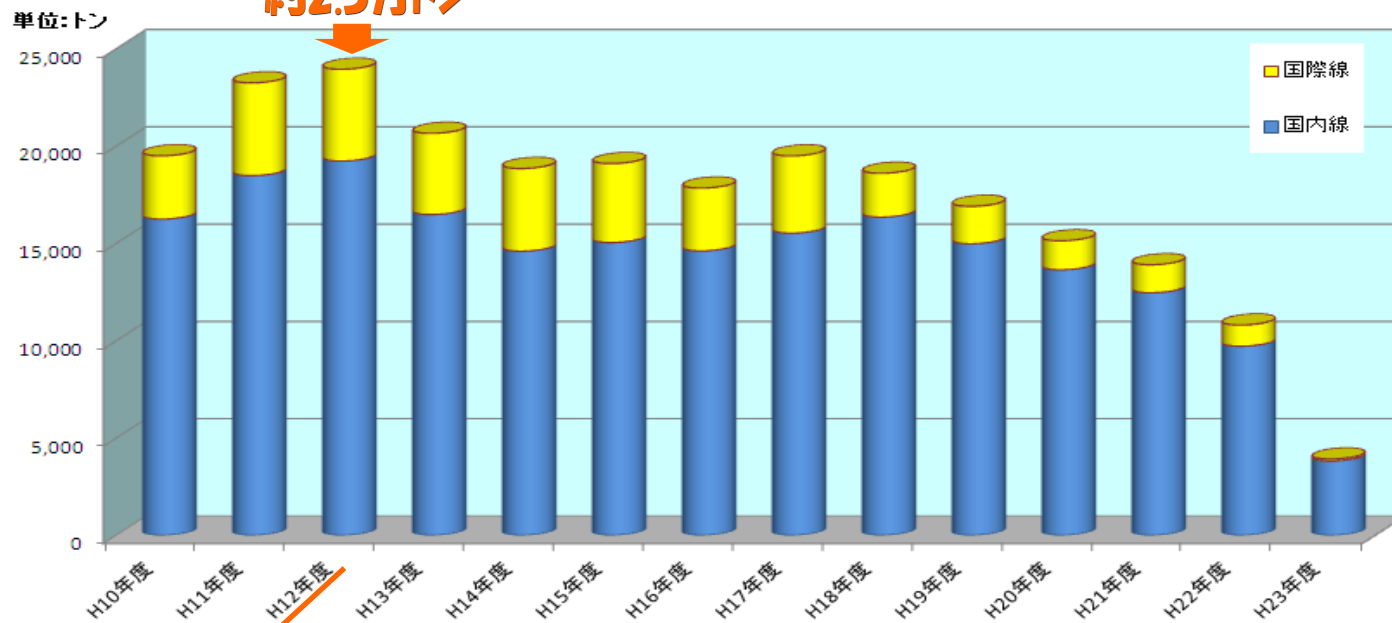
【仙台空港貨物取扱量の推移】

(単位:トン)

年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
国内線	16,248	18,480	19,232	16,484	14,598	15,041	14,613	15,525	16,349	14,979	13,645	12,462	9,714	3,819
国際線	3,252	4,767	4,716	4,172	4,250	4,060	3,228	3,970	2,253	1,925	1,488	1,439	1,089	98
計	19,500	23,247	23,948	20,656	18,848	19,101	17,841	19,495	18,602	16,904	15,133	13,901	10,803	3,917

対前年度比 86.8% 119.2% 103.0% 86.3% 91.2% 101.3% 93.4% 109.3% 95.4% 90.9% 89.5% 91.9% 77.7% 36.3%

(出典: 空港管理状況調書 H23年度のみ宮城県調べ ※貨物量から郵便は除く)



5万トンに!

6 海外の空港民営化の事例

- ・海外には民間委託を通じて、大きく旅客数を伸ばしている空港が存在
- ・ゴールドコースト空港は、2大LCCの拠点空港となったことで、旅客数は10年で2.5倍に
- ・ロンドンシティ空港は、市街地中心部に近い特性を生かし、ビジネス客に特化したマーケティングを展開し成功



ゴールドコースト空港の概要

民営化時期: 1998年

特徴: ジェットスターとエアアジアXという2大LCCの拠点空港

民営化時点で3都市だった就航都市は大幅に拡大

旅客数: 約200万人(2000年)→517万人(2010年)

出所)ゴールドコースト空港プレゼンテーション資料より

ロンドンシティ空港の概要

民営化時期: 1987年(2006年GIPが経営に参画)

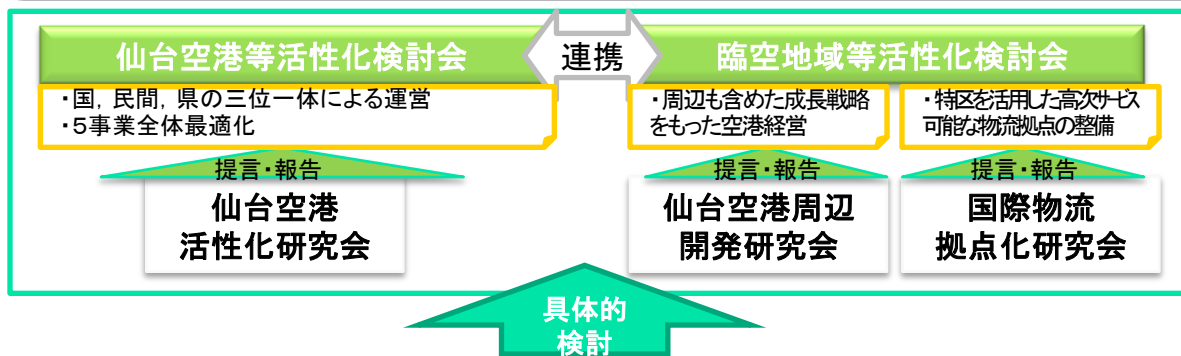
特徴: ビジネス客に特化したマーケティングを展開し、利用客の7割がビジネス客。ビジネスジェットの発着も多数。

旅客数: 約158万人(2000年)→299万人(2011年)

出所)ロンドンシティ空港ホームページ等より

7 民間活力による仙台空港の活性化

- ・ 国による国管理空港の運営の民間委託の推進の動き
- ・ 空港関連5事業の一体的経営に向けた検討開始（滑走路，駐車場，空ビル，SACT，SAT）
- ・ 県による「仙台空港等活性化検討会及び臨空地域等活性化検討会」の立ち上げ
- ・ 民間事業者有志による3つの研究会の立ち上げ → 国，民間，県の三位一体による運営，5事業全体最適化を提言



知事による5事業一体化について検討指示(H23.9)



PFI法の公共施設等運営権制度を活用した
国の国管理空港の運営等の民間委託を推進する動き

仙台空港等活性化検討会・臨空地域等活性化検討会

- メンバー：商社，銀行，関係団体，国，地元自治体等（25団体）
- 開催状況：2回（H24:2/8,5/29）
- 内容：基調講演，情報提供，意見交換等

仙台空港活性化研究会

- ・参加企業：三菱商事，三井物産，住友商事
- ・開催状況：4回
- ・国，民間，県の三位一体による運営を提言

国際物流拠点化研究会

- ・参加企業等：日本通運，三井物産，住友商事，三井不動産，三菱地所，東北経済連合会
- ・開催状況：5回
- ・国際貨物集荷に向けた方策を提言

仙台空港周辺開発研究会

- ・参加企業：住友商事，三井不動産，三菱地所
- ・開催状況：4回
- ・空港の中長期イメージから必要な施設等を提言

8 私の描くみやぎ国際ビジネス・観光拠点化プラン

- ・ 空港及びその周辺地域の活性化に向け、4つのプロジェクトを展開
- ・ まずは、仙台空港を活性化してヒトの流れ(海外誘客)を創出
- ・ 次に、ヒトの流れを促進させる新たな観光施設、新産業集積により周辺地域のにぎわいを創出
- ・ 併せて、生み出されたヒトの流れ・商流に対応したモノの流れ(国際物流拠点化)を創出

① 仙台空港活性化プロジェクト

仙台空港等の民間運営委託, 仙台空港の防災機能強化

② 海外誘客促進プロジェクト

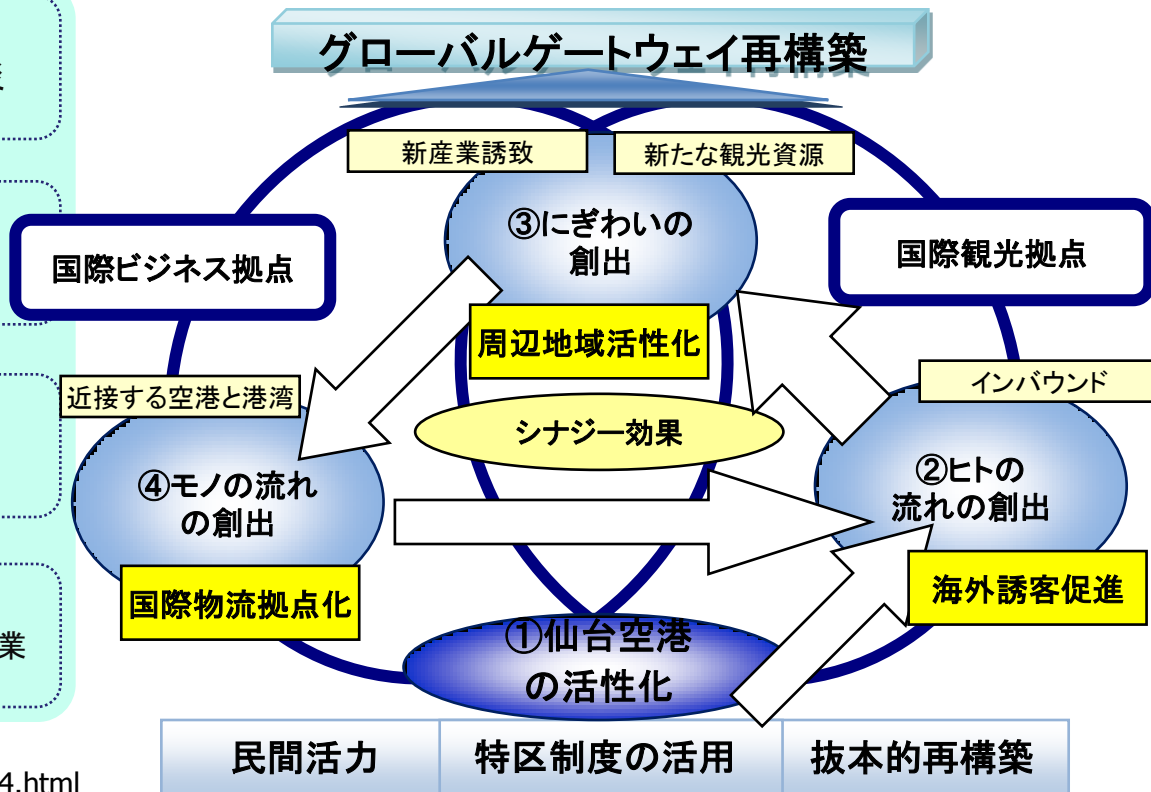
インバウンド誘客促進, MICE誘致, ビジネスジェット誘致

③ 周辺地域活性化プロジェクト

新たな観光資源の創出, 新産業の集積

④ 国際物流拠点化プロジェクト

航空貨物の拠点化, 仙台港の拠点化, 地域産業のグローバル化

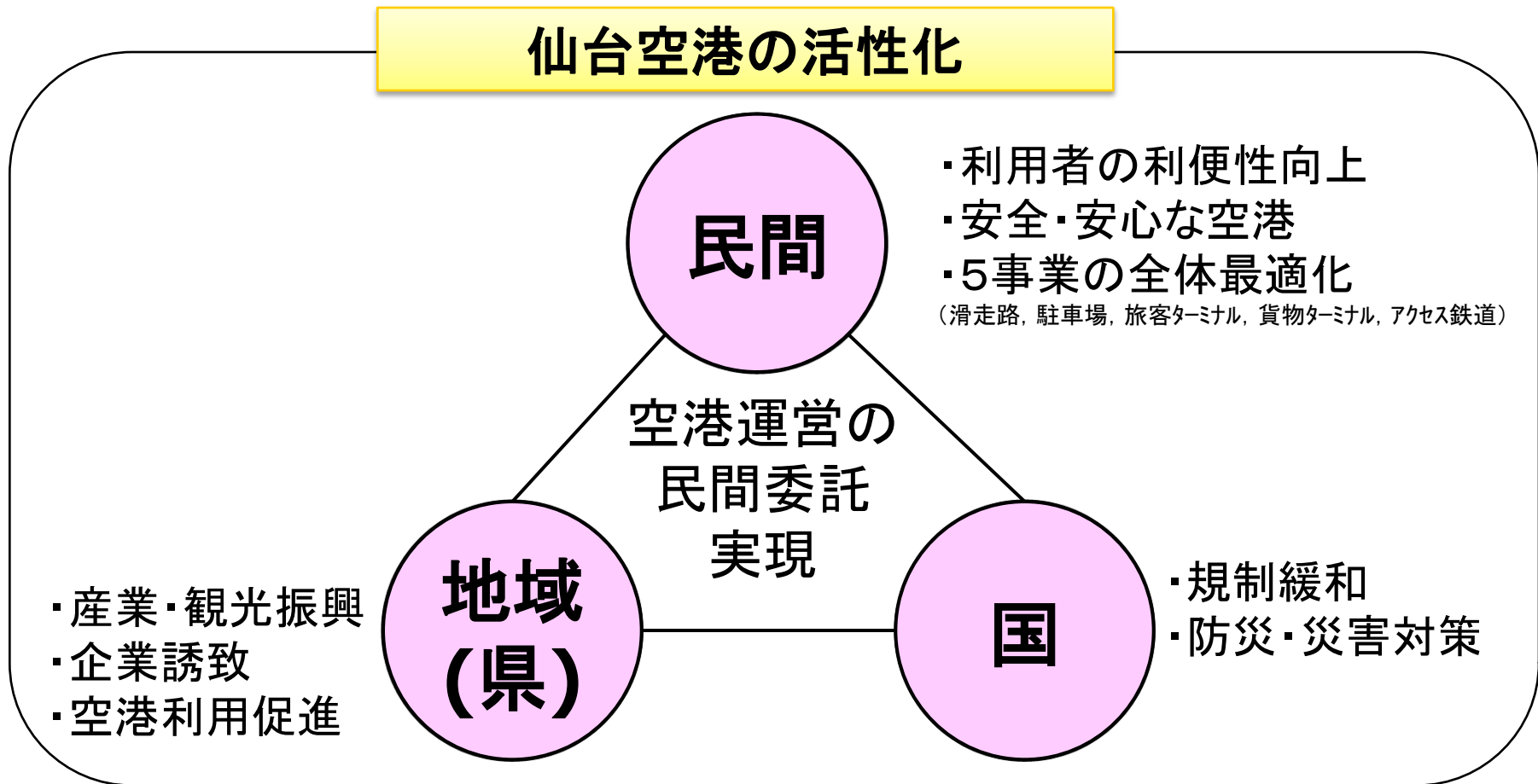


宮城県ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/fukensui/kyoten-planH24.html>

9 プラン実現に向けて（1）仙台空港の活性化

・ 国，民間，地域（県）による三位一体型の新たな空港運営の実現を目指す



9 プラン実現に向けて（2）空港周辺地域の活性化

- ・ 特区制度等を活用し、民間が投資しやすい環境整備を実施
- ・ オーダーメイドによる特区も検討

既存の特区制度

民間投資促進特区

- ・ ものづくり産業8業種に対する税制上の特例措置（自動車、高度電子機械、食品関連、木材関連、医療・健康関連、クリーンエネルギー関連、航空宇宙関連、船舶関連）
- ・ 工場立地に係る緑地等規制の緩和

IT産業復興特区

- ・ 情報関連産業7業種に対する税制上の特例措置（ソフトウェア、情報処理・提供サービス、インターネット付随サービス、コールセンター、BPOオフィス、データセンター、設計関連、デジタルコンテンツ関連）

税制上の特例措置

国税

①特別償却又は税額控除

②法人税等の特別控除

③新規立地促進税制

④研究開発税制

地方税

法人事業税
不動産取得税
固定資産税 の減免

今後検討する特区

（仮称）みやぎ国際ビジネス・観光拠点化特区

- ・ ビジネスジェット誘致に向けた規制緩和（ビジネスジェット国内移動許可申請の短縮等）
- ・ 商業施設、宿泊施設、観光施設の立地に向けた税制優遇
- ・ 保税工場、保税倉庫の集積に向けた税制優遇
- ・ 45フィートコンテナ利用促進に向けた税制・財政上の支援措置など
- ・（オーダーメイド）
- ・（オーダーメイド）



民間企業の皆様の宮城県への投資をお願いいたします。

問い合わせ先

宮城県 経済商工観光部 富県宮城推進室 政策推進班
宮城県 土木部 空港臨空地域課 空港振興班

電話:022-211-2792
電話:022-211-3228